

■密集住宅市街地整備における令和12年度までの目標

「大阪市密集住宅市街地整備プログラム（令和3年3月）」の策定時に重点対策地区として設定した10の防災街区の全てにおいて、

「不燃領域率40%以上」かつ「地区内閉塞度レベル2」を達成

※不燃領域率 40%以上：不燃領域率は「燃えにくさ」を表す指標で、40%以上になると延焼の危険性は低くなる。

※地区内閉塞度レベル2：地区内閉塞度は「逃げやすさ」を表す指標で、レベル2になると道路閉塞の危険性は低くなる。

■重点対策地区における2指標の基準値達成状況（令和5年度末時点）



※「大阪市密集住宅市街地整備プログラム（令和3年3月）」の策定時に重点対策地区として設定した10防災街区を範囲として2指標の達成状況を示しています。